



—東地中海地域ニュース—

ヨルダン：第6回在外ヨルダン人企業家及び投資家会議の開催

(5日付ヨルダン・タイムズ紙)

4日、アンマンにて、第6回在外ヨルダン人企業家及び投資家会議がヨルダン企業連合及びヨルダン投資委員会主催のもとに、リファイー首相、ラジャーイ・ムアッシャル副首相兼国務相、産業・貿易相、計画・国際協力相、高等教育・科学研究相、中央銀行総裁が出席して開催された。リファイー首相は、同会議において要旨以下を発言した。

1. ヨルダン政府は、エネルギー、インフラ及び鉄道網の分野でヨルダンが実行を模索している戦略的なメガ・プロジェクトにおいて、ヨルダン人の企業家や投資家が大きな役割を担うことを期待している。ヨルダン政府が実行を計画している数十億ヨルダン・ディナール（JD）規模のプロジェクトは十万人の雇用を生み出すことが見込まれている。民間部門からの提案を期待したい。
2. ヨルダン政府の主要な経済メッセージは、ヨルダンにおける投資環境を高め、より多くの投資家を魅了することを求める意見や提案にオープンであることからもたらされる。これは、ヨルダンの経済発展及び雇用機会に明確に反映されることになる。
3. （15億JDの財政赤字を減らすための手法について問われ）ヨルダン政府は財政赤字を安全なレベルにするために、燃料、アルコール飲料、煙草及び携帯電話通話料に対して増税し、またコーヒーに対する関税免除を廃止するという策を講じている。